

～ 第3回での審議内容の要約(議事録より) ～

皆さんが言われたように全体的な計画をもって、「こうだからお金が要りますよ」とか、そういう話でやっていかないといけない。部分的に蔵木・六日市とだけ言っていては「お前らのところはお前らでやればいいじゃん」というようになるから、住民説明会をした時にちゃんと説明できる全体的な計画が必要。

「よく考えたらこんな方法もあったわ。上げなくてすんだな」じゃあ話にならないから、これもしっかり「もうこれはこういう案にしてくれないと」「これしかないよ」というように、役場は私ら委員に対する説明を。

「ちょっとこれは改定しないとやばいぞ」「だから改正しないとこうなるぞ」というような事を私たち委員も知っておいて、また住民から聞かれたときに「いや、こうなんだよ」という説明も私たちはしないといけない。

最終的には上げるにしても「おまえらがあげたんだろうが」と言って私たち委員の方へ言われても困るので、住民説明会をしても納得できるものを役場の方で作って、まずは委員の皆さんに納得して頂くっていう。それで料金を上げるのであれば、上げていきましょうというような感じで。

この審議会の答申を役場は後ろ盾にするわけですし、「審議会はこう言っているのだから、役場はこういう方針を出します。住民の皆さん、協力をお願いしますよ」ということになる訳だから、この審議会のだす答申というのは結構重たい。ここにいるということはそれだけの責任もあると思うので、そこは委員の皆さんで統一した考えを持っていたら「こうだね」というようなことを私たちも言えたら、住民の方も少しでも納得して頂けるのではないかなと。